

特定非営利活動法人バル・ピパル奨学基金

事業報告 第4号 (2006年度)

(1) 学用品支援事業…就学生へ文具品の寄与

就学生 268 名へ年間に必要な文具品を寄与できました (表 1)。

<就学生 1 人に寄与する文具>

鉛筆、消しゴム、ノート各種、ボールペン及び換芯、万年筆及びインク (使い切ると就学生が教師に申し、確認してから新品が渡される)

表1 文具品を寄与した就学生

学校名	学年	人数
バル・ピパル学校	1~6	193
夜間成人クラス	1~3	51
シャンカ・デヴィ学校	7~10	24
合計		268

<対象者の条件>

- a. サッレ村在住の就学生、またはサッレ村内の学校に通学している他の村の就学生であること。
- b. 進級試験の合格者の場合、学校の出席率が月 80%以上 (塾は月 90%以上)、不合格者の場合は、出席率が月 90%以上 (塾は月 100%) であること。

(2) 奨学資金支援事業…第 5 回奨学生の決定及び文具品寄与

対象者の条件として、新たに下記項目 C を設けました。理由は、奨学品支援の機会をさらに増やすことで、就学生達のやる気をさらに引き出し勉学に励んでもらうためです。予算と管理上の問題で、現在のところはバル・ピパル学校のみ対象としています。

隣のバンカルカ村の要望で、この村のカリカ学校 (1~2 学年) を奨学支援対象に加えました。結果、7 つの村の学校から優秀な就学生 103 名が決まり、奨学金が寄与されました (表 2)。

4 月末の奨学品の授与式には、サッレ村のバル・ピパル奨学財団が各学校に招待状を送り、村々から奨学生達と代表教師 1 人がサッレ村に集まりました。式典では、リボンで結ばれた文具品が各自に寄与され、儀式として額、頭、頬、肩にはお祝いの赤い粉が付けられました。

表2 優秀な奨学生

村名	学校名	学年	人数
サッレ	バル・ピパル学校	1~5	20
トドケ	バゲソーリ学校	1~3	12
ダダ	パンチャ・カンニヤ学校	1~5	20
ラマスタン	ラマスタン学校	1~5	20
ヴォルレ	マナルピ学校	1~5	20
ボシ	シャンカ・デヴィ学校	1~10	3
バンカルカ	カリカ学校	1~2	8
合計			103

<対象者の条件>

- a. サッレ村とその近隣の村に通う就学生であること。
- b. 毎年 4 月に行われる進級試験の成績順上位 4 名であること。
- c. 毎年 1 月と 9 月に行われる中間試験の成績順上位 4 名 (バル・ピパル学校のみ対象)。

<寄与文具品の金額設定>

表 3 及び表 4 の通りです。



奨学品の授与式の様子



カリカ学校の奨学生と代表教師

表3 奨学文具設定金額 (条件b用)

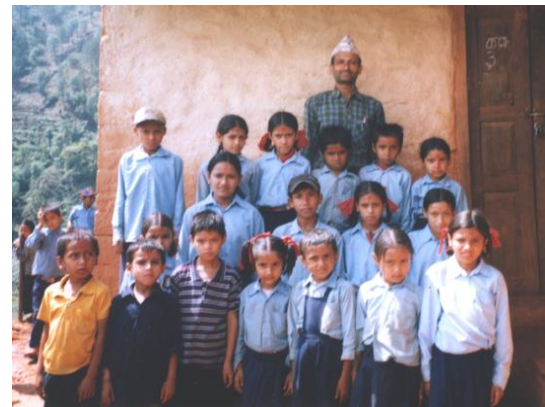
学年	1位	2位	3位	4位	合計
1	100	80	60	50	290
2	200	160	120	100	580
3	300	240	180	150	870
4	400	320	240	200	1,160
5	500	400	300	250	1,450
6	600	480	360	300	1,740
7	700	560	420	350	2,030
8	800	640	480	400	2,320
9	900	720	540	450	2,610
10	1,000	800	600	500	2,900
1Rs=約1.5円	年間				15,950

表4 奨学文具設定金額 (条件C用)

学年	1位	2位	3位	4位	合計
1~6	25	20	15	10	70
1Rs=約1.5円	年間				840



リボンで結ばれた奨学品



パンチャ・カンニャ学校の奨学生と代表教師

(3) 識字率向上支援事業・・・脱穀機導入の成果

夜間成人クラスで学ぶ成人の出席率向上が目的です。昨年、話し合って決め直したルールに従い、村人達は頑張って通学しています。

脱穀の使用に関するルールは以下の通りです。

- 各世帯に対して、1人の就学出席率が月50%以上であれば、その所帯は半額で脱穀機を使用できる。月50%以下の場合、使用料は全額料金となる。
- 70歳以上の高齢者しかいない所帯の場合、体力的に就学が困難なため半額で脱穀機を使用できる。

(4) 広報活動 ①・・・特定非営利活動法人ブッダ基金による教育ご支援

ブッダ基金の事業内容のひとつ「ネパール山村地域に住む人々への識字教育援助」として、サッレ村にバル・ピパル学校の6～10学年(中高等部)を建設し教育支援を行っていただくことになりました。10月にブッダ基金とサッレ村の現地NGO、Bar Peepal Scholarship Foundation(バル・ピパル奨学財団)が契約を結びました。既に教師としてRajan Karkee氏が雇用され、37名の6年生が学び始めています。当法人はこの契約に直接関わらない形となりましたが、中高等部の就学生も支援対象です。

また、昨年ブッダ基金と当法人のリジャルが、サッレ村の実情を知るためにアンケート方式で村の住民の暮らしについて調査しました。村の115人の生徒、45軒の家庭から回答が得られ、ブッダ基金の田村氏と静岡大学教育学部附属浜松中学校の5人の生徒さんが結果をまとめました。詳細につきましては、ブッダ基金のホームページでご覧になれます。<http://www.buddha-f.com/>



ブッダ基金とサッレ村の契約の様子(ブッダ基金のホームページより)



中高等部の教師
Rajan Karkee先生

広報活動 ②…京都中ロータリー・クラブによる教育ご支援

京都中ロータリー・クラブ(以下京都中 RC)の皆様は幼稚園の教師の雇用支援としてご寄付をいただき、教師は現在熱心に指導を続けています。バル・ピパル学校の幼稚園部の教師として採用しましたが、初等部(1~5 学年)でも他の教師と交代で指導しています。また夜間成人クラスでは、週 6 日で 1 日 1 時間教えています。基本給与は、政府が設定している小学校教師の金額です(表 5)。

京都中 RC の活動につきましては、こちらのホームページでご覧になれます。<http://www.nakarotary.org/>

表5 幼稚園教師の給与内訳

内 訳	金 額
幼稚園・小学校の基本給与	4,920
夜間成人クラス	400
退職積立金(給与の5%)	246
合 計	5,566

1Rs=約1.5円

広報活動 ③…ホームページの作成

この法人の活動をより多くの方々を知っていただくため、ホームページを作成致しました。これまでの事業報告書 1 号~3 号も編集して掲載しております。アドレスは、<http://barpeepal.com/> です。

なお、ホームページの情報は不特定多数の方々を参照するため、ご寄付いただいた皆様の個人名や団体名は掲載しておりません。何卒ご理解をお願い致します。掲載内容について、皆様のご意見やご感想をお待ちしております。

(5) 図書館設立支援事業…第 3 期 設立準備金の積立継続

今年度で、サッレ村に図書館を設立するための準備金の積立金が 30 万円になりました。日本国内で毎年 10 万円を 10 年間積立て、合計 100 万円を目指します。この準備金には図書館の建物の建設費、机やイスなどの設備費、書籍費が含まれます。

(6) 寄付金収入及び正会員数

1 団体様、29 名様のご寄付により、合計 569,992 円集まりました。また、正会員は 2 人増えて合計 18 名となりました。いつもご支援をくださり、誠に有難うございます。

(7) 法人登録先の変更

リジャルの住所移転に伴い、今年 9 月に法人名の登録先を大阪府から兵庫県へ変更致しました。

(8) その他のサッレ村の動き

京都中 RC がサッレ村に道路建設支援を行ってくださり、今年春から建設の着工が始まりました。これまで、サッレ村内には車道がなく、村の端から端まで約4キロの距離を歩いて移動していました。隣村の住民がカトマンズへ向かう場合は、サッレ村を通過しなければなりません。

車道ができることによって、サッレ村や近隣の村人達の移動が楽になり、皆たいへん喜んでいますが、石がごろごろ転がる悪路では、子供達がケガをすることがしばしばありましたが、これで安心して通学ができます。病人搬送や必要物資運搬も速やかに行えます。村人自身が建設作業を行い、5年間計画で4キロの幹線道路を完成させる予定です。村人達はこの道を「Kyoto Road」と呼んでいます。

また、10月に京都中 RC の方々が視察で村を訪れた際は、識字率向上のために5台のガリ版印刷機の贈呈と使用方法のご指導を行っていただきました。初めてガリ版を使用し、村人達は驚きの歓声を上げたそうです。ガリ版は電力不要のため、学校や村で大いに活用されることが期待されます。

来年の春からバル・ピパル学校は7学年が始まり、他の村々から通学して来る生徒が増えます。そのため、学校全体で約40名の増員となる見込みです。周辺村の期待は日に日に増え、私達の奨学事業の資金もさらに必要と考えられます。

これからも、この期待に答えて事業を続けていくために、どうか皆様のご支援とご寄付のご協力を宜しく願致します。

<お振込先>

郵便振替口座：00930-4-265848

口座名称：特定非営利法人 バル・ピパル奨学基金

<ご連絡先>

特定非営利活動法人バル・ピパル奨学基金

2006年12月

特定非営利活動法人バル・ピパル奨学基金



サッレ村の建設中道路(京都中RCのホームページより)



ガリ版指導の様子
(京都中RCのホームページより)

第3期収支計算書

(平成2005年1月1日～12月31日)

(単位:円)

科目	決算額
I 収入の部	
1 入会金・会費収入	
正会員入会金収入	15,000
正会員会費収入	165,000
2 寄付金収入	
寄付収入	569,992
3 その他収入	
利息収入	18
当期収入合計(A)	750,010
前期繰越収支差額	440,600
収入合計(B)	1,190,610
II 支出の部	
1 事業費	
① 広報活動事業	44,893
② 学用品支援事業	97,000
③ 奨学資金支援事業	45,000
④ 識字率向上支援事業	315,000
⑤ 書籍購入支援事業	33,000
⑥ 図書館設立支援事業	100,000
2 管理費	
通信費	10,200
印刷費	
消耗品費	0
雑費	2,130
振替手数料	2,430
3 予備費	0
当期支出合計(C)	649,653
当期収支差額(B)-(C)	540,957
次期繰越収支差額	540,957